

## 8 章 光ケーブル工

### 8.1 光ケーブル配管工

8.1.1 適用

8.1.2 土工

8.1.3 配管設置

8.1.4 ハンドホール設置

## 8章 光ケーブル工

### 8.1 光ケーブル配管工

#### 8.1.1 適用

##### 1. 適用

河川堤防に埋設する光ケーブル配管工事に適用する。

#### 8.1.2 土工

##### 1. 適用

光ケーブル配管工事の土工に適用する。

##### 2. 数量算出項目

掘削、埋戻しの土量を区分ごとに算出する。

##### 3. 区分

区分は、なし。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目          | 区分 | BIM/CIM<br>モデル | 属性情報           |    |                  |
|-------------|----|----------------|----------------|----|------------------|
|             |    |                | 単位             | 数量 | 備考               |
| 掘削(光ケーブル配管) |    | 土構造            | m <sup>3</sup> |    |                  |
| 埋戻し締固め      |    | 土構造            | m <sup>3</sup> |    | レキ質、砂・砂質土、粘性土に適用 |
| 埋設表示シート     |    | B              | m              |    |                  |

(注) 1. 掘削及び残土処理数量は、地山数量とする。

2. 埋戻し締固めの土量は、締固め後の土量とする。

### 8. 1. 3 配管設置

#### 1. 適用

配管及び付属品の設置に適用する。

#### 2. 数量算出項目

配管の設置延長にて算出する。

#### 3. 区分

区分は、設置条数とする。

#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目         | 区分 | BIM/CIM<br>モデル | 属性情報     |    |    |
|------------|----|----------------|----------|----|----|
|            |    |                | 設置<br>条数 | 単位 | 数量 |
| 配管設置 (埋設部) |    | B              | ○        | m  |    |

BIM/CIM モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

## 8. 1. 4 ハンドホール設置

### 1. 適用

ハンドホール、蓋等の設置に適用する。

### 2. 数量算出項目

ハンドホール、蓋を区分ごとに算出する。

### 3. 区分

区分は、規格・仕様とする。

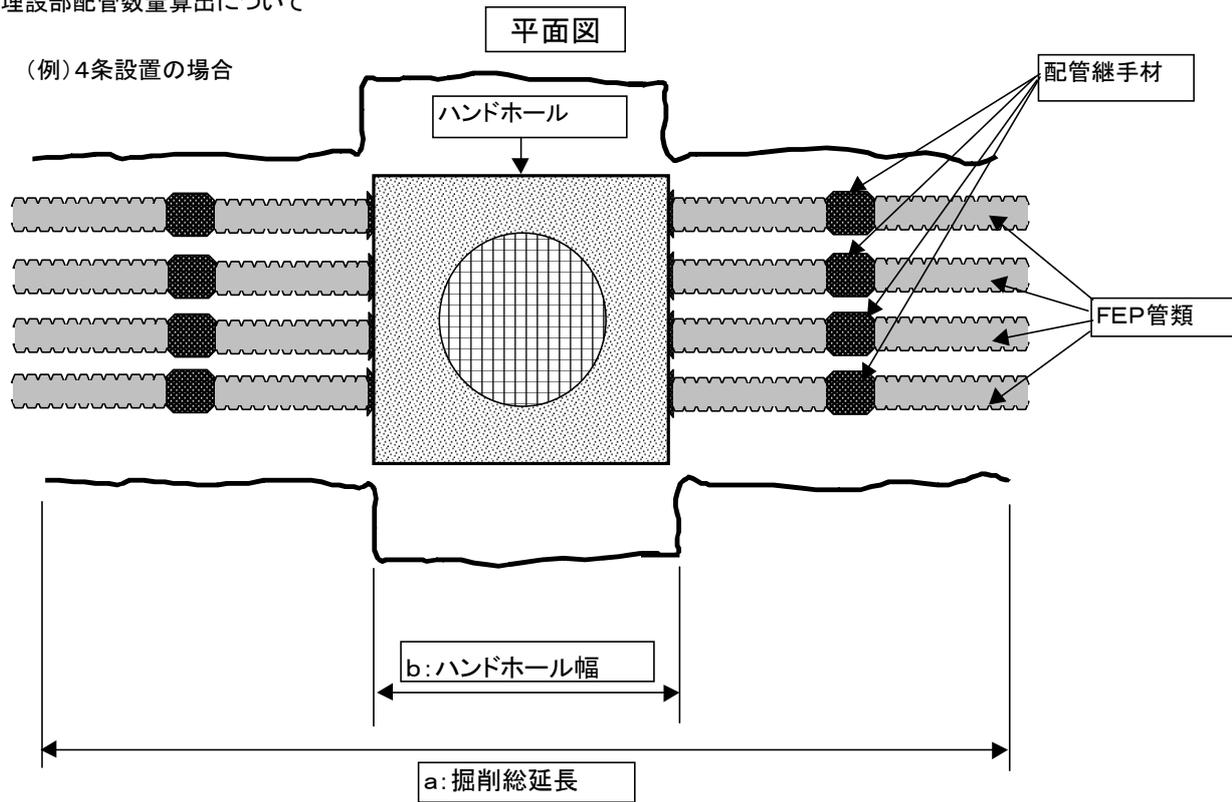
#### (1) 数量算出項目及び区分一覧表

| 項目     | 区分 | BIM/CIM<br>モデル | 属性情報  |    |    |    |
|--------|----|----------------|-------|----|----|----|
|        |    |                | 規格・仕様 | 単位 | 数量 | 備考 |
| ハンドホール |    | B              | ○     | 個  |    |    |
| 蓋      |    | B              | ○     | 枚  |    |    |

BIM/CIM モデルによる数量算出方法は、コンクリート構造を参考とする

[参考図 1]

埋設部配管数量算出について

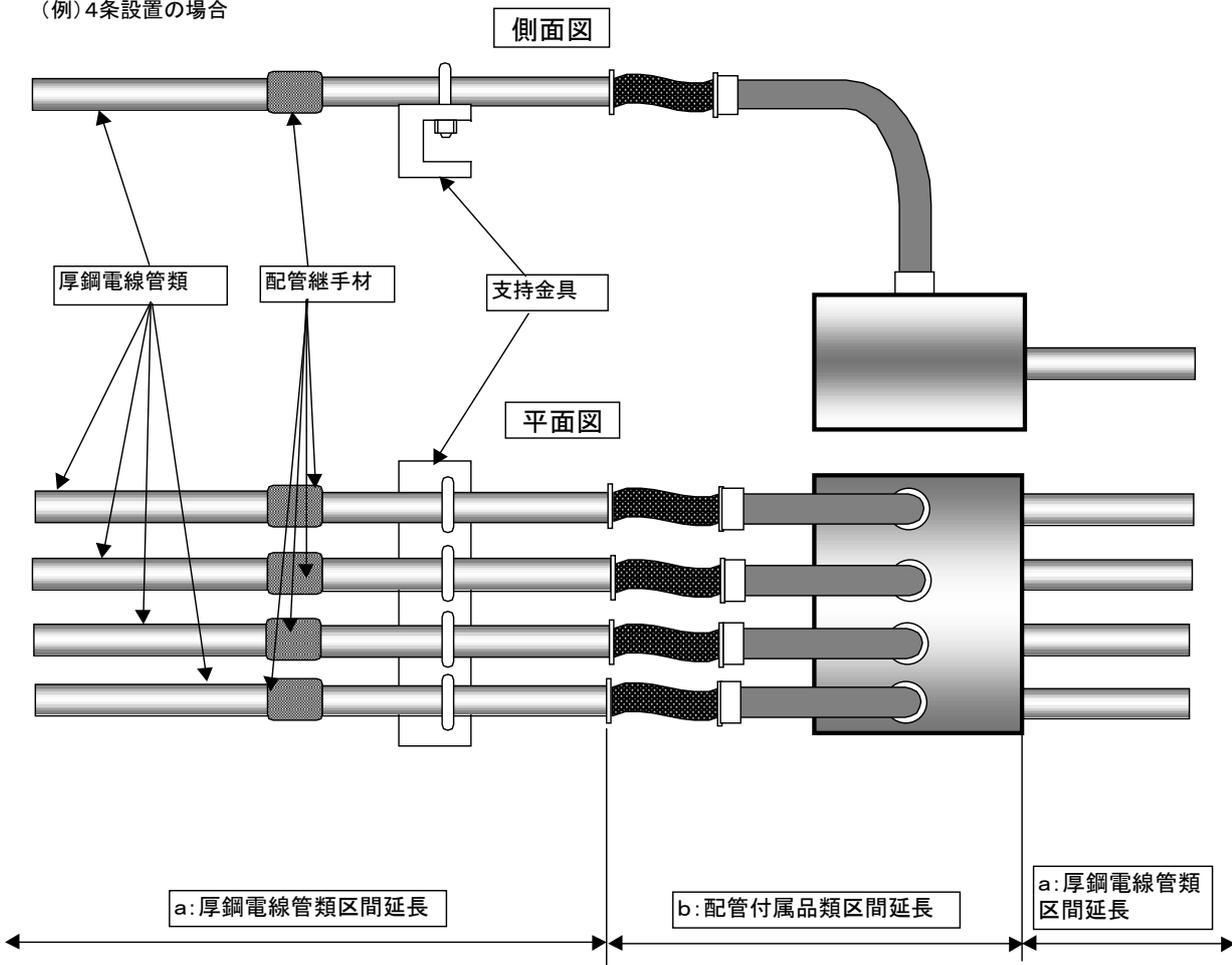


対象延長(掘削延長) = ※ $a - b$ とする。  
※ハンドホール幅は除き、配管継手材等は含む。

配管材料使用量  
設計数量 × 条数 ※設計数量 = FEP管類延長  
FEP管類延長とは、対象延長(掘削延長) =  $a - b$ とする。  
諸雑費には、配管継手材を含む。

露出部配管数量算出について

(例)4条設置の場合



対象延長 = ※a + b  
 ※a: 厚鋼電線管類区間延長とは  
 配管類の設置延長であり、継手材の材料延長は含まれている。  
 b: 配管付属品類区間延長とは  
 配管及び配管継手以外の配管部品の設置延長である。  
 (例)  
 プルボックス、可とう電線管、伸縮継手、ノーマルベント、その他必要な部品

配管材料使用量  
 設計数量 × 条数 ※設計数量 = a: 厚鋼電線管類区間延長  
 諸雑費には、配管継手材の材料費等を含む。  
 支持金具及び配管付属品類は、別途必要量を計上する。